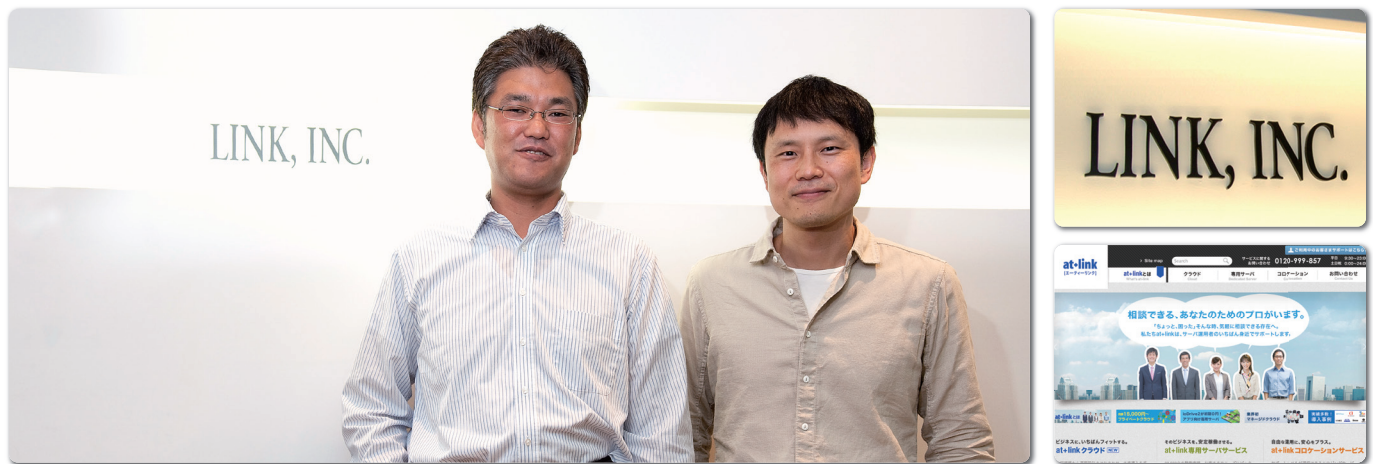


AXシリーズを使いハイパフォーマンスな ホスティングサービスを提供

多様化するニーズに応えながらホスティング、クラウドサービスを1996年のサービス開始以来提供してきたat+link(エーティーリンク)のべ2万台の運用実績を持っており、そのサービスは低価格ホスティングでは物足りない、しかし過剰な投資はしたくないという多くのユーザーに支持されてきました。利用料金の低さを求めるユーザーがいる一方で、高いパフォーマンスが求められるサービスもあります。そうしたサービスで、システム全体のパフォーマンスを高めるために選ばれているのが、A10 ネットワークスのAXシリーズです。



Value Point

「AXシリーズは、上位キャリアであるIDCフロンティアからも推奨された製品でした。

低価格ながらもパフォーマンス、運用性、サポート力のいずれも高く、納得の選択でした。」

株式会社リンク



at+link 事業部 営業部 部長
滝村享嗣氏



at+link 事業部 技術開発部 部長
中島弘基氏

■ 課題：パフォーマンスが求められるゲーム業界、キャリア向けサービス

株式会社リンクはat+linkブランドで、ホスティングやクラウドサービスを提供しています。ビジネスの中心はマネージドホスティングですが、個別の業界や企業に向けて作り込んだプラットフォームも提供。at+link アプリプラットフォームと呼ばれるそのサービスの中でも、特にパフォーマンスへの要求が厳しいのが、ゲーム向けプラットフォームとキャリア向けプラットフォームだと、中島弘基氏は語ります。

「たとえばオンラインゲームでは、サーバーのレスポンスが、快適なゲームの必須条件になっています。プラットフォームの構築においてもパフォーマンスが大きな要件になっており、サーバー機器、ネットワーク機器、ストレージ等すべてにおいてハイパフォーマンスな製品を組み合わせることで構築されています」

当然、組み合わせられるロードバランサーにも高いパフォーマンスが求められました。しかも、サービスとして利用者に安心して使ってもらえるよう、信頼性や実績が認められており、低コストな機器が必要でした。

■ 検証：パフォーマンス、コスト、サポートのバランスの良さを評価

ベンダー5社の製品にオープンソースのロードバランサーまで視野に入れた製品選定が行なわれ、パフォーマンス、コスト、運用性などあらゆる面から検討が加えられました。その結果選ばれたのは、A10ネットワークスのAXシリーズです。

「最も大きな決め手となったのは、やはりパフォーマンスです。AXシリーズは、スループット、同時コネクション数ともに高い性能を持っています。実績も多く、それでいて低コストで導入できるのは非常に魅力的でした」

選定の決め手について、滝村享嗣氏はそう振り返ります。パフォーマンスという点ではオープンソースのロードバランサーも十分な結果を残しましたが、サポート体制の整っていないものをサービスには採用できなかったと滝村氏は説明しました。

「サービスとして提供するプラットフォームに採用するので、サポートの質やスピードは大切です。A10ネットワークスは国内にサポートエンジニアを多数擁しており、そうした際のレスポンスも早いので安心してサービスに採用できますね」

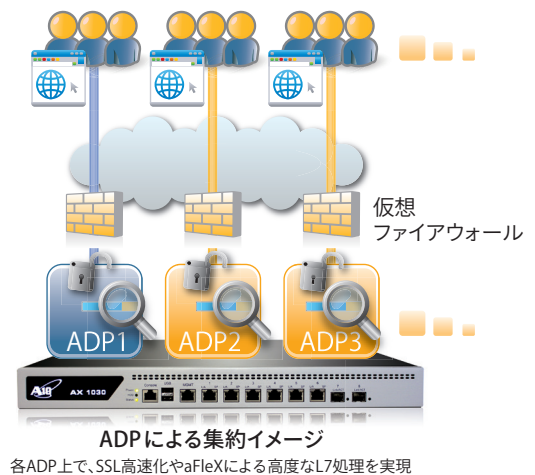
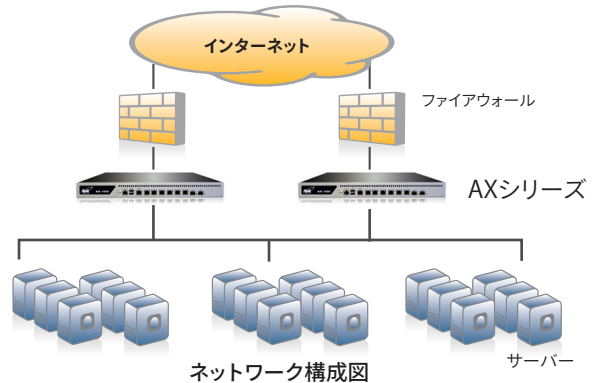
■ 導入効果:SSLやL7処理などAXの活用をさらに深めることで、さらにパフォーマンスの高いサービスへ

ゲーム向けプラットフォームを中心に、高いパフォーマンスが求められるサービスにAXシリーズは導入されていきました。導入規模は次第に大きくなり、現在リンクでは冗長化構成で10セット以上、20台を超えるAXシリーズが稼働しています。特にL4ロードバランシングにおけるスループットの高さ、多数のコネクションが集中した状態での安定性の高さ、従来のスイッチ製品では設定が難しかった複雑なルーティングも実現する柔軟性の高さに満足していると、中島氏は言います。

「あるゲームではイベントのタイミングでコネクションが集中しますが、CPU負荷も安定しており安心して見ていられます。詳細なレポートを取れるので、キャンペーンやサービス期間の終了間際などアクセスが集中した際の負荷状況を詳しくレポートできるのも助かりますね。サービスのキャパシティプランニング(サイジング)に役立つ情報を提供できるので、利用者からも好評です」

リンクでは現在、AXシリーズの利用範囲を広げ、より良いサービスづくりに活かそうという動きが高まっています。そのひとつが仮想化機能であるADPを使ったもので、仮想ファイアウォールとの連携によりクラウドサービスに適したネットワーク機能の提供形態を実現しようとしています。またサーバーの処理負荷を下げてサービスのパフォーマンスを向上させるため、高度なL7処理やSSLの処理をロードバランサーにオフロードすることを検討しています。その点においても2048ビットのSSL暗号に対応したSSL高速化機能や、複雑なL7処理を行なうスクリプト言語aFlexを搭載するAXシリーズなら問題ありません。滝村氏はAXシリーズ、A10ネットワークスへの期待を次のように語ってくれました。

「aFlexをうまく使うことで、いまはサーバー側で対応しているような処理をAXシリーズで行なうようにすれば、さらにパフォーマンスの高いサービスを提供できるようになるはず。aFlexは工夫次第で色々なことができる可能性を秘めていると思うので、A10ネットワークスさんからの情報提供や、開発者同士で情報交換できる場が増えていくと嬉しいですね」



A10 Networks/A10ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) はアプリケーションネットワーク分野におけるリーダーとして、高性能なアプリケーションネットワークソリューション群を提供しています。世界中で数千社にのぼる大企業やサービスプロバイダー、大規模Webプロバイダーといったお客様のデータセンターに導入され、アプリケーションとネットワークを高速化し安全性を確保しています。A10 Networksは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本拠地を置き、世界各国の拠点からお客様をサポートしています。

A10ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークソリューションをご提供することを使命としています。

詳しくはホームページをご覧ください。 www.a10networks.co.jp
Facebook: <http://www.facebook.com/A10networksjapan>

(記載された内容は 2013 年 7 月時点の情報です。)

A10ネットワークス株式会社

〒106-0032
東京都港区六本木3-2-1
住友不動産六本木グランドタワー33階
TEL: 03-4520-5700
FAX: 03-4520-5701
jinfo@a10networks.com
www.a10networks.co.jp

海外拠点

北米 (A10 Networks 本社)
sales@a10networks.com

ヨーロッパ
emea_sales@a10networks.com

南米
latam_sales@a10networks.com

中国
china_sales@a10networks.com

香港
HongKong@a10networks.com

台湾
taiwan@a10networks.com

韓国
korea@a10networks.com

南アジア
SouthAsia@a10networks.com

オーストラリア/ニュージーランド
anz_sales@a10networks.com

お客様のビジネスを強化するA10のアプリケーションサービスゲートウェイ、Thunderの詳細は、A10ネットワークスのWebサイトwww.a10networks.co.jpをご覧ください。A10の営業担当者にご連絡ください。

Part Number: CSAX_20150218_at+link